

【授業の概要】

現代の社会福祉を学ぶ。イギリスの社会福祉の歴史を学び、これから日本の福祉がどのような方向にむかっているのかを検討する。また、介護の必要な高齢社会の現状、障害児の現状を含めて社会福祉全般の概念を理解する。現在の法体系や手当、社会保障などから、これからの日本における社会福祉の理想を考える。

【授業要旨】

回数	題 目	授 業 内 容
1	現代社会と社会福祉の意義及び基本理念	社会福祉の意味・概念から、社会福祉の法体系・社会保障全般を学ぶ。また日本の構造改革における制度の内容と現状を知る。
2	イギリスにおける社会福祉の歴史 (1)	エリザベス救貧法から、当時の社会の状態を考える。またなぜ新たに制度の内容を改正していくのかを学ぶ。
3	イギリスにおける社会福祉の歴史 (2)	ベヴァリッジ・レポートやシーボーム報告から、現在のイギリスの社会福祉を学ぶ。またアメリカや世界各国の福祉の特徴をとらえる。
4	社会福祉法と関連法	新しくなった社会福祉法の内容を理解する。各施設の特色や法人としてのあり方・組織 (理事・評議員・監事など)・地域との在り方を学ぶ。
5	社会福祉のニーズ・需要・資源	社会福祉のニーズ・需要・資源からサービス提供のあり方を学ぶ。また教育及び保育において、保護者や子どもの視点をとらえる。
6	子ども家庭福祉の概念・歴史・法制度	児童福祉法や学校教育法など児童に関する法体系を学ぶ。また児童に関する法体系に伴う現代の課題を検討する。
7	少子社会における子育て・子育て支援	少子社会における現状から、国や市町村の政策、児童に関する手当、子育て支援に伴う利用者 (保護者) 支援などを総合的に学ぶ。
8	ひとり親家庭の子育て支援・生活支援	ひとり親の家庭生活における現状を学ぶ。手当、保険、生活保護、生活支援員など生活をサポートしていく政策を考える。
9	低所得者の福祉	生活保護法から保護の補足性・扶助について学ぶ。イギリスの歴史を参考に、低所得者のための制度とともに、日本全体の国益について考える。
10	社会福祉のネットワークと諸外国の動向	保育・教育・療育・保健・医療等の連携やネットワークから現代の社会福祉の構造を把握する。また諸外国の動向を学ぶ。
11	社会保障の仕組みと障害児 (者) 福祉政策の考え方	社会保険の種類、社会保険や社会扶助、年金制度・後期高齢者医療制度などから現在の福祉の大まかな概要を把握する。
12	地域における社会福祉	地域福祉計画から、在宅福祉サービス、環境改善サービス、組織活動などを学ぶ。また社会福祉協議会の活動や、地域に根ざした活動を検討する。
13	利用者の保護に関わる仕組み	情報提供やサービスの第三者評価、苦情解決の仕組みを考察する。また民法から利用者保護・養子縁組・権利擁護を学ぶ。
14	児童に関わる社会福祉施設	社会的養護の必要な児童に関わる社会福祉施設の特色を学ぶ。また里親や特別支援学校などから、子どもの生活を社会的に検討する。
15	相談援助の方法と技術	福祉全般における保育及び教育技術を習得する。また演習や実技などを通して、技術的一面を考察する。

【評価の方法】 出席状況、定期試験、授業態度等により総合評価する。